



志木二中だより

「勇気」 前に向かう強い心をもつ生徒

「信頼」 静かに考え他を認め励ます生徒

令和4年度7月号
令和4年6月30日(木)
志木市立志木第二中学校
志木市館 1-3-1
TEL:048-473-2379

志木二中生たちの輝き

校長 三杉 紀文

暑さも日々増していき、本格的な夏の季節もすぐそこまで来ているようです。蒸し暑い日が多く、体力が奪われやすい時期です。熱中症対策としての水分補給はもちろん、食事をしっかりとって夏バテ対策もしたいところです。

さて、6月は運動部の朝霞地区学校総合体育大会、3年生の修学旅行と大きな行事がありました。コロナ禍の中、お陰様でどちらも実施することができ、ご理解・ご協力くださいました保護者、地域の皆様に、改めて感謝申し上げます。

朝霞地区学校総合体育大会は、特に3年生の生徒にとっては部活動の集大成となる大会でした。結果として、見事に県大会への出場を果たした男女卓球部個人戦の生徒たちなどは、改めて県大会での活躍が楽しみです。また、思わず見る者を熱くさせる数々の場面がありました。卓球部男子では、団体戦で敗退した相手に、翌日の個人戦では気持ちを切り替え、攻め切った勝利。これが県大会出場につながりました。サッカー部では、相手の攻撃を皆で凌ぎ、PK戦ではゴールキーパーが鬼神のように相手を2本止める活躍。次戦も後半残り時間僅かでの同点劇。タイミングのよい水筒の準備などベンチワークも見事でした。野球部では、最終回二死からも粘り強く連打で得点し、逆転を期待させる最後まであきらめない姿勢。バックネット裏で控える生徒たちも常に前向きに応援し続けていました。女子バスケット部は、2・3年生6名でほとんど交代がない中、ガードポジションの2人が前線から相手に当たるなど、最後まで攻めて走ることを励行。試合後には相手校や審判への挨拶など、マナー面も立派でした。その他、どの部も全体として、相手にリードされても下を向かない、最後まであきらめない姿勢や、インターバルの時間にすぐに水分補給できるようにしたベンチワークなど、コートの中も外も自分にできる精一杯を尽くそうとしている姿が多く見られ、胸が熱くなりました。さらに、観戦制限等もある中、応援グッズを自作されたり、手が痛くなるほど拍手をされたりするなど、各会場で熱い応援を下された皆様に改めて感謝申し上げます。

3年生の修学旅行は、本校としては3年ぶりに京都・奈良へ行くことができました。東京駅での出発式で、目の覚めるような元気の良い挨拶に始まり、随所に3年生のよさを感じさせられました。自由行動では「あと5分だから気を付けよう」、道路を歩いていると「2列になろう」などよくお互いの声掛けがありました。ホテルでは自分のスリッパだけでなく、仲間のスリッパも整頓する生徒の姿に、添乗員さんが驚かされていました。3日目の点呼は全体で30秒かからず完了。生徒たちが自分たちで動いていく姿を頼もしく感じました。今後の生活にもこうした生徒たちの主体的な姿勢が生かされることを楽しみにしています。